

営農経済部会の役員が市内農業振興地域を視察

JAセレサ川崎では9月4日に第4回営農経済部会を開催。部会の理事が今年度新たに入れ替わったことを受け、より深く市内の農業事情を知ってもらうことを目的に、今年度初めて農業視察を実施しました。

視察先は、農業振興地域である早野・岡上・黒川上・黒川東の4ヶ所。視察先では、資料を用いながら、当JAの営農経済担当常務が視察先の概要等を説明し、担当理事らは農業振興地域の現状を把握し、認識を深めました。

市内は都市化が進み、年々農地が減少しているのが現状。そんな中、麻生区には、市内で唯一の農業振興地域という農地以外での土地利用が厳しく制限されている地区があります。いずれの地区でも露地栽培や施設栽培、水稻栽培を行うなど多様な経営体系で農業を営んでいます。

都市化が進み農業を取り巻く環境が年々厳しく変化していますが、これらの地域ではセレサモス出荷で堅実な農業経営が営まれています。こうした現在の農業をしっかりと見つめることで、都市農業の振興をはかるとともに、農地保全に努めていきます。



岡上の施設を視察し、地元生産者より説明を受ける理事ら